

総務委員会 委員会視察報告

令和6年8月16日
委員長 与座 武

視察行程 令和6年7月8日
武蔵野スイングホール及び武蔵野市民文化会館
令和6年7月19日
江東区豊洲文化センター 豊洲シビックセンターホール

視 察 者 令和6年7月8日
委員長 与座 武
副委員長 さこう もみ
委員 道場 ひでのり、菅 源太郎、藪原 太郎、橋本 しげき、下田 ひろき
委員外議員 きくち 由美子、大野 あつ子、宮代 一利、ひがし まり子
小林 まさよし、浜田 けい子、落合 勝利、木崎 剛、三島 杉子
本間 まさよ、西園寺 みきこ、深沢 達也

令和6年7月19日
委員長 与座 武
副委員長 さこう もみ
委員 道場 ひでのり、菅 源太郎、藪原 太郎、橋本 しげき、下田 ひろき
執行部職員 毛利 悦子、馬場 武寛、吉沢 歩、大杉 光生

総務委員会（令和6年7月8日、7月19日）

日 時	令和6年7月8日 午後1時30分から午後4時30分まで
視察先	武蔵野スイングホール及び武蔵野市民文化会館
テーマ	議案第57号 グランドピアノの買入れについての審査に伴う現状視察
目 的	議案第57号 グランドピアノの買入れについての審査に伴い、市内の各公共施設に設置されているピアノの現状を調査する。
内 容	<p>今回、買換えの提案のあったスイングホールのスタインウェイ社製ピアノ1台、及び文化会館に設置されるピアノの実態、利用状況や管理状況などについて、調律を委託する事業者から詳細を伺う。</p> <p>1 スイングホールのスタインウェイ社製ピアノの状況</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 弦が切れる、チューニングピンの刺し直し、ハンマーの消耗などの経年劣化が目立つ。(2) 本番中に弦が切れるなどのトラブルが発生するリスクがある。(3) 実費負担の調律を実施しない利用があるとピアノの状態が悪化する。(4) 舞台袖の保管庫で保管、空調は完備。(5) 調律は月1回、定期点検を年2回実施。その他利用者の実費負担による調律を実施。 <p>2 ホール及びピアノの利用状況</p> <ol style="list-style-type: none">(1) ホール利用率は、2023年度は85.1%、例年80%から90%程度(2) ホール利用のうち60%程度はピアノを利用する。連続利用もあり。 <p>3 文化会館のスタインウェイ社製ピアノの状況</p> <ol style="list-style-type: none">(1) スイングホールのもより古い時期に取得したものもあるが、3台のピアノでローテーションを組み、連続利用を避けているため、スイングホールのもより消耗が少ない。(2) 保管庫の空調は大規模改修時に品質が改善した。
成果（参考になった点）、課題等	<p>1 スイングホールはピアノの利用が多いにもかかわらず、保管庫の関係でピアノを1台しか設置できないため、連続利用による消耗が激しい。</p> <p>2 パーツ交換も可能だが、チューニングピンやハンマークッションなど、パーツ交換をしたところで改善できない消耗箇所も多い。</p>



総務委員会（令和6年7月8日、7月19日）

日 時	令和6年7月19日 午前10時30分から正午まで
視察先	江東区豊洲文化センター 豊洲シビックセンターホール
テーマ	議案第57号 グランドピアノの買入れについての審査に伴う現状視察
目 的	議案第57号 グランドピアノの買入れについての審査に伴い、都内の公共施設に設置されている同型のピアノを調査する。
内 容	<p>都内で唯一、ファツィオリ社製のピアノを設置する公共施設である豊洲シビックセンターを訪問し、選定の経緯、保守管理の状況、利用状況などの実態を伺った。</p> <p>1 豊洲シビックセンター開設時、ファツィオリ社製ピアノの導入を決定した経緯</p> <p>(1) 選定委員会においてファツィオリ、ベーゼンドルファ、スタインウェイ、ベヒシュタイン、ヤマハの5台で比較検討のうえ、決定した。</p> <p>(2) 選定委員会には有識者のほか、ホール利用者なども参加した。</p> <p>(3) ①話題性、②必要性、③シビックセンターホールの主な利用目的の3つの理由から決定した。</p> <p>2 ピアノ本体費用及び年間ランニングコスト（2017年から2023年まで）</p> <p>(1) 購入価格 1,930万円、年間ランニングコスト 502,700円</p> <p>(2) 年間ランニングコストは、年間の利用料金の収入で十分償却が可能。</p> <p>3 利用状況と料金収入（2017年から2023年まで）</p> <p>(1) ホール利用率は、2023年度は99.4%（2021年、2022年いずれも90%超）</p> <p>(2) ホール利用のうち50%以上がピアノを利用。</p> <p>4 調律などの保守・管理</p> <p>(1) 温度湿度を一定に保つことのできる空調設備があるピアノ保管庫で保管している。</p> <p>(2) 保管庫、ホール間の移動での負担を最低限に抑えるため、段差などを一切排除した設計。</p> <p>(3) ファツィオリ社本社が認めた調律師に限定した調律を実施。</p> <p>(4) 定期調律を6回/年、定期保守を2回/年の頻度で実施。</p> <p>(5) ピアノ利用の際にはほとんどの利用者が実費負担での調律を実施している。</p> <p>成果（参考になった点）、課題等</p> <p>1 ピアノの選定の際には有識者、利用者などで構成される選定委員会で選定を実施し、議事録の公開を含めて決定のプロセスがオープンにされていることは、市民にとっての安心・信頼感につながるように感じた。</p> <p>2 調律などの保守業務に加え、保管状況がピアノの寿命を大きく左右するため、保管庫の環境整備の必要性を感じた。</p> <p>3 利用者からファツィオリ社のピアノは非常に好評であり利用率も高く、年間ランニングコスト及び購入費用の償却は武蔵野市においても10年から15年程度で十分可能であるように思う。</p>

